

理科教育センター便り

平成28年10月発行

発行所
久留米市理科教育センター
久留米市南1丁目8番1号
(久留米市教育センター内)
TEL (0942) 36-9777
36-9778 (情報教育室)
FAX (0942) 35-9930

第69回久留米市理科作品展 出品点数671点

去る9月3日(土)、4日(日)の両日に、久留米工業大学で行われた「久留米市理科作品展」は、671点の理科作品が出品され、また、台風接近にも関わらず、2554名の多くの参観者を迎えて、盛会の内に終えることができました。夏休みを中心に観察・研究、創作、採集を頑張ってくれた子どもたち、またそれを指導していただいた先生や保護者の皆様、そして会場監視等で「久留米市理科作品展」を陰で支えてくださった理科教育センター委員の先生方に深く感謝いたします。

来年度は第70回の理科作品展を迎えます。下記の成果と課題をもとに改善し、実施していきたいと考えています。

成果

- ①自分の疑問から研究の目的をふくらませ、内容を充実させた研究物が増えてきた。
- ②観点をしっかり持って長期間にわたり観察し、分かったことをまとめた作品が多く見られた。
- ③昆虫採集、植物採集などの採集物において、基本にそって分類、整理された作品が増えてきた。

課題

- ①研究物の出品数が多い傾向がある。研究物は全体に出品数に対して83%をしめている。
- ②インターネット等での調べ学習的な研究が多い。
- ③中学生の出品数のさらなる増加が望まれる。

□出品点数

研究物	557点
創作物	90点
採集物	24点
計	671点

※ 昨年度は、702点

□入場者数

入場者 期日	子ども	大人	計
9月3日(土)	738名	775名	1513名
9月4日(日)	494名	547名	1041名
計	1232名	1322名	2554名

※ 昨年度は、2678名



【作品を熱心に見学する参観者】

【参観者アンケートより】

- 自分の疑問をもとに、自然の中からテーマを決めていることに感心しました。
- 子どもたちの理科への関心が高まっていると感じ感動しました。
- サイエンスショーがよかった。また来たいです。
- 自分の作品だけでなく、友達作品をじっくり見ている子どもたちに「未来の科学者」が重なって見えました。
- 作品展は、子どもたちのやる気を高めるよい取組だと思います。
- 我が家ももっと理科に力を入れて、ここに出される研究を子どもと一緒にしたいです。
- 長期間にわたる観察にとっても感心しました。

わくわく、どきどきしたサイエンスショー

福岡県青少年科学館より



【ドライアイスの科学】

ドライアイスの性質を使って、いろいろな実験をしました。



【液体窒素の科学】

液体窒素の中にさまざまなものを入れました。この写真は液体窒素の低温を利用したものです。

久留米工業大学より



【紙コップを使ったマグナス効果実験】

二つの紙コップをくっつけて、ゴムを巻いて強く回転させて飛ばしました。すると浮き上がるように飛びました。



第69回久留米市理科作品展

「からくり儀右衛門大賞」入賞作品・「福岡県小・中学生科学作品展」推薦作品

久留米市文化財保護課では、ものづくり久留米の発展を願って、第4回「からくり儀右衛門大賞」を実施しています。久留米市理科作品展に出品された創作作品の中から「久留米市長賞」などの各賞を選出し展示、表彰します。会場を提供していただいている久留米工業大学からも賞が与えられています。

◇第4回「からくり儀右衛門大賞」入賞作品◇

【久留米市長賞】	金魚の自動餌やり機	宮ノ陣小	6年	八尋	智紀
【久留米市教育委員会教育長賞】	スチール缶自動演奏鉄きん	山川小	3年	高野	涉聖
【久留米工業大学賞 小学生の部】					
金賞	植物の水の吸い上げ方、色の付き方を調べた結果	荒木小	6年	川添	恵太
銀賞	コロロスイッチのしくみ	日吉小	4年	井上	泰誠
銅賞	ぶどうでそめてみよう	水縄小	1年	安陪	満知
特別賞	音の高低	西国分小	6年	持丸	和輝
【久留米工業大学賞 中学生の部】					
金賞	液状化現象とその関係	牟田山中	1年	平田	裕也
銀賞	除草No.1 決定戦	諏訪中	1年	緒方	友菜
銅賞	渦の研究 ～流れの不思議～	城南中	3年	鶴田	千尋
特別賞	身近な飲料水で燃料電池を作る	諏訪中	2年	村田	来瞳

金魚の自動餌やり機
宮ノ陣小6年 八尋智紀
〈寸評〉自分の生活の中で、必要なあ。どうにかしたいなあ。と思ったものを工夫して作っています。



スチール缶自動演奏鉄きん
山川小3年 高野涉聖
〈寸評〉缶を使って一つ一つの音程を根気よく調整して作っています。自動演奏の仕組みがすごいです。



福岡県教育委員会では、児童生徒の理科・科学技術への興味・関心を高め、科学する心を育むために、「福岡県小・中学生科学作品展」を実施しています。県下の市町村から各4点が出品され審査されます。入賞した作品は、11月5日（土）・6日（日）に福岡県青少年科学館で展示されます。久留米市理科作品展に出品された作品の中から、下記の4点が久留米市の代表として推薦されました。

◇平成28年度福岡県小・中学生科学作品展推薦作品◇

コップの水滴はどこから？その真相とは！？	日吉小	5年	高松	脩人
これなあに？	南薫小	1年	藤井	優華
電気を通すえき体調べ	合川小	3年	寺崎	颯太
タガメの飼育観察と所見	江南中	2年	津留崎	太智

今人気の理科教育センター備品 貸し出し数増える

理科教育センター委員の皆さんが各学校で、理科教育センターの備品の紹介をしていただいたおかげで、昨年より貸し出し数が増えています。

特に、以下の備品が多く貸し出されています。ただ、学習時期が重なるためお待ちいただくこともありますので、早めの予約をお願いします。

- ☐ デジタル双眼実体顕微鏡 ☐ 光電池用ライト ☐ 骨と筋肉の動き実験器 ☐ 筋肉と関節の模型
- ☐ 簡易プラネタリウム ☐ 流水実験器 ☐ 三球儀 ☐ たんじょうのふしぎ (DVD)
- ☐ 流れる水のはたらき (DVD) ☐ 月・星は動くのだろうか (DVD) ☐ 星や月② (DVD)

これからの学習に使える備品等

- ☐ ものの重さ比較セット(3年)… 8 ☐ 簡易プラネタリウム… 1 ☐ ガスコンロ… 9
- ☐ 電磁石 60 kg… 2 ☐ デジタルばかり… 6 ☐ 手回し発電機… 6
- ☐ 台付きオルゴール… 42 ☐ 土地のつくりと変化①②③④(6年)… 各1
- ☐ 月と月の満ち欠け②③(中学校)… 各1